

令和8年度中学部の教育課程

1 教育目標

(1) 学校教育目標

個々の障がいの状況と心身の発達に応じた教育活動を通して、基礎的・基本的な内容の確実な習得を図るとともに、人間性豊かにたくましく生きる幼児児童生徒を育てる。

〔めざす子どもの姿〕

- (ア) 意欲的で主体性のある子
- (イ) 豊かな情操をもち、協調性のある子
- (ウ) 健康で、たくましく生きる子
- (エ) 豊かにコミュニケーションできる子

(2) 学部教育目標

- ア 基礎学力、生活力の向上を図るとともに、主体的に判断したり行動したりしようとする態度を育てる。
- イ 相手の立場や気持ちを理解し、進んで協力しようとする態度を育てる。
- ウ 健康に対する意識をもち、体力の向上やよりよい生活習慣について考え実行しようとする態度を育てる。
- エ 自らの意思を伝達し、様々なコミュニケーション手段で伝え合おうとする意欲を育てる。

2 指導の重点及び教育課程編成の方針

(1) 指導の重点

- ア 教育的ニーズを考慮し、個に応じた学習方法、評価を工夫することで、基礎学力や生活力を高める。
- イ 課題の解決に向けて、他の意見を参考にしながら粘り強く考えることを通して、主体的に判断したり、行動したりする態度を育てる。
- ウ 様々な考えを尊重してその中で自分の意思をもち、集団の中で生活するために必要な社会性を育てる。
- エ 心身の発達に応じた、健康、安全の知識を高め、実践できる力を育てる。
- オ 相手に応じてコミュニケーション手段を使い分けながら、自分の考えを表現したり、相手の考えを理解したりできる力を育てる。
- カ 伝えたいことが、相手に正しく伝わっているのか、確認できる力を育てる。
- キ 見学や体験活動などを通して、自らを知り進路について考える態度を育てる。

(2) 教育課程編成の方針

- ア 個々の実態を的確にとらえ、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、実態に即した指導をする。各教科等の指導に当たっては、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る。また、語彙の拡充及び言語活動に関する能力の育成に努めるとともに、豊かにコミュニケーションを図ろうとする態度や技能を育てる。
- イ 必要に応じて、当該学年の前各学年の目標及び内容の一部又は全部に替えた各教科及び自立活動による教育課程を編成する。
- ウ 知的障がいを併せ有する生徒については、生徒の実態に即した教育課程を編成する。

- エ 「自立活動」については、生徒一人一人が自らの障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする態度を育てる。
- オ 「総合的な学習の時間」については、体験的かつ課題解決的な学習ができるようにする。
- カ 「道徳教育」については、生徒の発達段階を考慮し、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度など道徳性の育成が図られるように道徳科の時間を要に、全教育活動を通して指導する。
- キ 「特別活動」については、学級活動及び生徒会活動、学校行事等の集団活動を通して、積極性や社会性を養う指導をする。
- ク プログラミング教育については、プログラミング的な思考の育成を図るととともに、身の回りの問題をプログラミングで解決しようとする態度を養う。
- ケ 八戸盲学校中学部との交流や地域の中学校との交流及び共同学習を通して協調性や社会性を養う。
- コ キャリア教育の視点に立ち、幼稚部や小学部と一貫性をもたせた教育課程を編成する。

3 各教科等及びその授業時数

(1) 中学校に準じた各教科等及び自立活動で編成する教育課程

入学年度		令和6年度～令和8年度		
各教科等	学年	1 年	2 年	3 年
国	語	1 4 0	1 4 0	1 0 5
社	会	1 0 5	1 0 5	1 4 0
数	学	1 4 0	1 0 5	1 4 0
理	科	1 0 5	1 4 0	1 4 0
音	楽	4 5	3 5	3 5
美	術	4 5	3 5	3 5
保 健 体 育		1 0 5	1 0 5	1 0 5
技 術・家 庭		7 0	7 0	3 5
外 国 語		1 4 0	1 4 0	1 4 0
自 立 活 動		7 0	7 0	7 0
総合的な学習の時間		5 0	7 0	7 0
小 計		1 0 1 5	1 0 1 5	1 0 1 5
特別の教科 道徳		3 5	3 5	3 5
学 級 活 動		3 5	3 5	3 5
合 計		1 0 8 5	1 0 8 5	1 0 8 5
履 修 人 数		人	0人	2人
備 考		・中学校の各教科等に準じた目標及び内容を取り扱う。 ・生徒の障がいの状態に応じて一部の教科については前各学年の目標及び内容の一部又は全部を取り扱う。 ・自立活動は、毎日20分間程度の短い時間を単位として行う指導を設定する。 ・1単位時間は、50分とする。 ・給食指導は、授業時数に含まない。		

(2) 各教科の全部を知的障がいの各教科に替えて編成する教育課程

入学年度		令和6年度～令和8年度		
各教科等	学年	1 年	2 年	3 年
国	語	1 4 0	1 4 0	1 4 0
社	会	3 5	3 5	3 5
数	学	1 4 0	1 4 0	1 4 0
理	科	3 5	3 5	3 5
音	楽	7 0	7 0	7 0
美	術	7 0	7 0	7 0
保 健 体 育		1 0 5	1 0 5	1 0 5
職 業・家 庭		2 1 0	2 1 0	2 1 0
外 国 語		3 5	3 5	3 5
自 立 活 動		1 0 5	1 0 5	1 0 5
総合的な学習の時間		7 0	7 0	7 0
小 計		1 0 1 5	1 0 1 5	1 0 1 5
特別の教科 道徳		3 5	3 5	3 5
学 級 活 動		3 5	3 5	3 5
合 計		1 0 8 5	1 0 8 5	1 0 8 5
履 修 人 数		人	1人	0人
備 考		・社会生活に必要な基礎的・基本的事項の習得を図りその知識・技能を生かしてよりよく生活する力を育てることに重点を置いて指導する。 ・自立活動は、毎日20分間程度の短い時間を単位として行う指導と特設した時間における指導を設定する。 ・1単位時間は、50分とする。 ・給食指導は、授業時数に含まない。		

4 総合的な学習の時間の概要

(1) 名称 八ろうタイム

(2) 指導計画

	主な学習内容	学習の過程
探究的な学習	【地域理解】 全学年共通「私たちの街、八戸」（27時間） 知的全学年共通（22時間） ・地域の課題について調べ、解決への道筋を探る。 ・ICT等を活用して情報を収集して内容をまとめる。 全学年共通「報告会」（6時間） 知的全学年共通（8時間） ・「職場体験」について学習したことをプレゼンテーションソフトにまとめ、発表する	「課題の設定」 ・体験活動などを通して課題を設定し課題意識をもつ。 ↓ 「情報の収集」 ・必要な情報を取り出したり収集したりする。 ↓ 「整理・分析」 ・収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。 ↓ 「まとめ・表現」 ・気づきや発見、自分の考えなどをまとめ判断し、表現する。
他者と協働して主体的に取り組む学習	【交流及び共同学習】 （10時間） 知的全学年共通（10時間） 全学年共通「福地中学校との交流及び共同学習」 ・交流活動を通して、相手に伝わるようなコミュニケーション手段を用いて、コミュニケーションを図る。 【進路学習】 （17時間） 知的全学年共通（20時間） 全学年共通「先輩を囲む会」 ・先輩が歩んできた過程を知ること、これからの自分の生き方について考える。 全学年共通「職場体験」 ・地域において様々な職種に触れることで働くことに関する意識を高める。 【行事との関連】 （10時間） 知的全学年共通（10時間） 全学年共通「学習発表会」	

(3) 学習形態

学級で学習することを基本としながら、生徒の実態や、学習内容に応じてグループに分かれて行う。

(4) 指導体制

- ア 担当教員がチームティーチングで指導を行う。
- イ 学部外のゲストティーチャーによる指導を行う。

(5) 評価の観点

- ア 知識・技能
- イ 思考・判断・表現
- ウ 主体的に学習に取り組む態度

5 特別活動の概要

自主・自立・協調の精神を養い、自主的・実践的な態度を育てるとともに個性の伸長を図り、自己を生かす能力を育てる。

(1) 学級活動

学校生活における望ましい人間関係を育てるとともに、健康で健全な生活を送ろうとする態度と実践力を養う。生徒本人が当面する課題に主体的に関わる態度を育成する。

ア 学級や学校における生活づくりへの参画に関する指導（学級会、係活動、当番活動等）

イ 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全に関する指導（生活態度、生活習慣、人間関係、健康と安全、食習慣等）

ウ 一人一人のキャリア形成と自己実現に関する指導（学校図書館等の利用、マナーやルール、キャリアパスポートの活用等）

(2) 生徒会活動（児童生徒会活動も含む）

学校生活における身近な問題について話し合い、自分たちの力で解決しようとする自主的な態度と実践力を養う。

ア 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営に関する指導
（児童生徒集会、あいさつ運動、生徒会役員承認式）

イ 学校行事への協力に関する指導

ウ ボランティア活動などの社会参画に関する指導

※この他、他の学部（幼稚部、小学部）及び八戸盲学校との合同の活動を取り入れる。

(3) 学校行事

学校行事を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育成する。

6 主な学校行事

区分	行 事 名	学 年	時 期	日数又は時間数	主 な ね ら い
儀式的行事	入学式（含新任式）	全学年	4 月	1 時間	中学生になった喜びと自覚をもつとともに在校生は後輩を温かく歓迎する。
	始業式	全学年	4、10 月	2 時間	新たな目標を立て、積極的に学習しようとする意識をもつ。
	終業式	全学年	9 月	1 時間	これまでの生活を振り返り、次の学期への意欲をもつ。
	卒業証書授与式	全学年	3 月	1 日	卒業の喜びを味わうとともに、在校生は卒業生の前途を祝う。
	修了式(含離任式)	1・2 年	3 月	2 時間	一年間の成長を喜び、次年度への意欲をもつ。
行事 文化的	学習発表会	全学年	10 月	1 日	学習の成果を総合的に発表するとともに自主性や協力的態度を身に付ける。
健康安全・体育的行事	健康診断・身体測定	全学年	4、8、1 月	4 時間	健康の状態や体位の変化を知り、健康の増進に関心をもつ。
	交通安全教室	全学年	4 月	1 時間	規則を守り、進んで自己を防止しようとする態度を身に付ける。
	避難訓練	全学年	5、9、2 月	3 時間	様々な災害に対応した機敏な行動がとれるようにする。
	運動会	全学年	5 月	1 日	競技や応援などを通して、自主的・協調的態度を身に付ける。
	三八地区中学校体育大会夏季大会	全学年	6 月	2 日	日頃の練習の成果を発揮するとともに他校生と交流する。
	東北地区聾学校体育大会	全学年	7 月	2 日	
	全国障害者スポーツ大会	全学年	8 月	1 日	障がい者スポーツの価値や意義を理解し、積極的に応援する態度を養う。
	三八地区中学校体育大会秋季大会	1・2 年	9 月	2 日	日頃の練習の成果を発揮するとともに他校生と交流する。
集団旅行・宿泊的行事	遠 足	全学年	9 月	1 日	様々な見学・体験活動を通して集団活動に必要な社会性を身につける。
勤労奉仕的行事	大清掃	全学年	3 月	1 時間	生活環境の美化意識を高めるとともに自主的に清掃活動に取り組む。
	奉仕活動	全学年	10 月	1 時間	地域の一員であることを意識し、奉仕の心をもって取り組む。

総 計

1 学 年	11 日 16 時間
2 学 年	11 日 16 時間
3 学 年	9 日 14 時間